

手洗キャビ集合配管[L353タイプ]

LTCK型

FP513 20.04

施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様に保管頂くよう依頼してください。

安全のために必ずお守りください

※ここでは施工に際して守って頂かないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告 ……取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 ……取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が生じることが想定されます。

 ……「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。
必ずお読みになり、記載事項をお守りください）

 ……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です）

 ……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です）

⚠ 警告

	給排水工事・電気工事は、関連する法規・規定に従って有資格者が行ってください。 ※漏水や火災、感電のおそれがあります。
	手洗器、キャビネット等の固定位置には、壁裏の補強をしてください。 ※取付物の落下、転倒によりケガをするおそれがあります。
	浴室など高温多湿な場所や、水に浸る可能性がある床面には設置しないでください。 ※キャビネットの劣化、電気用品を使用する場合は感電のおそれがあります。
	ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。 ※変色や変形、火災を起こすおそれがあります。
	修理技術者以外の人は、絶対に修理・改造は行わないでください。 ※漏水や火災、感電のおそれがあります。

⚠ 注意

	給水は上水道に接続してください。 ※皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。また器具の故障につながります。
	工事完了後に、手洗器、キャビネット等の固定にガタツキが無いか確認してください。 ※使用中に落下してケガをするおそれがあります。
	工事完了後に、給排水管から漏水が無いか確認してください。 ※漏水により家財に損害を与えるおそれがあります。
	凍結のおそれがある地域では、凍結防止の工事を行ってください。 ※配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります。
	給水給湯管の接続時に、湯水を逆に配管しないでください。 ※火傷やケガをするおそれがあります。
	製品に強い力や衝撃を与えないでください。 ※破損や故障、漏水の原因になります。手洗器は陶器製です。
	直射日光が当たる場合は必ずカーテン等で遮ってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。※変色や変形の原因になります。
	不陸が5mm／2mを越える場所には施工しないでください。 ※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。
	酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネット等を拭かないでください。 ※変色や変形のおそれがあります。溶剤が付くと跡が残ることがあります。

施工上の注意

- 便器の位置決め方法は、便器（スマートクリンⅢシリーズ）の施工説明書に記載されている位置決め方法（便器の後壁と便器の隙間：15mmの場合）とは異なります。
- 便器の位置決め方法は、本施工説明書に従ってください。
- ※本製品は、手洗器の排水管を便器に接続し、また便器用の給水管から手洗器用の給水も取る仕様の製品です。

●配管スペースについて

便器の後方に手洗器排水管を接続します。

その配管スペースを確保するため、後壁と便器の間に85mm以上の空間が必要です。

※製品上、配管スペースは後壁から便器まで85～190mmまで調整できます。

※床排水便器の場合、排水心が後壁から190～555mmまで設置可能です。

・排水心が200mm、280mmの場合に後壁と便器の空間は、95mmになります。（排水ソケット使用時）

・排水心が385～460mmの場合に後壁と便器の空間は、95mmになります。（排水アジャスター使用時）

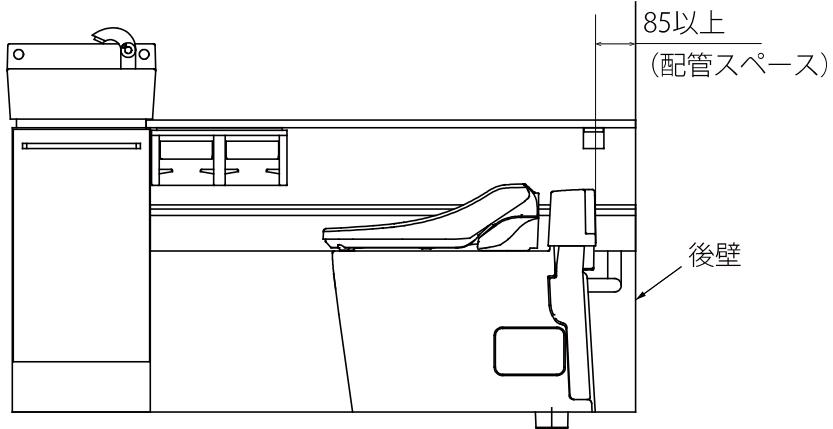
・排水心が上記の寸法を超えた場合は、便器の設置位置は手前に出できます。（後壁と便器の空間が広がります）

※壁排水便器（後抜き）の場合、排水心高さは床から120mm、便器用排水管の出代が後壁から155～260mmまで設置可能です。

・便器用排水管の出代が165mmの場合に後壁と便器の空間は、95mmになります。

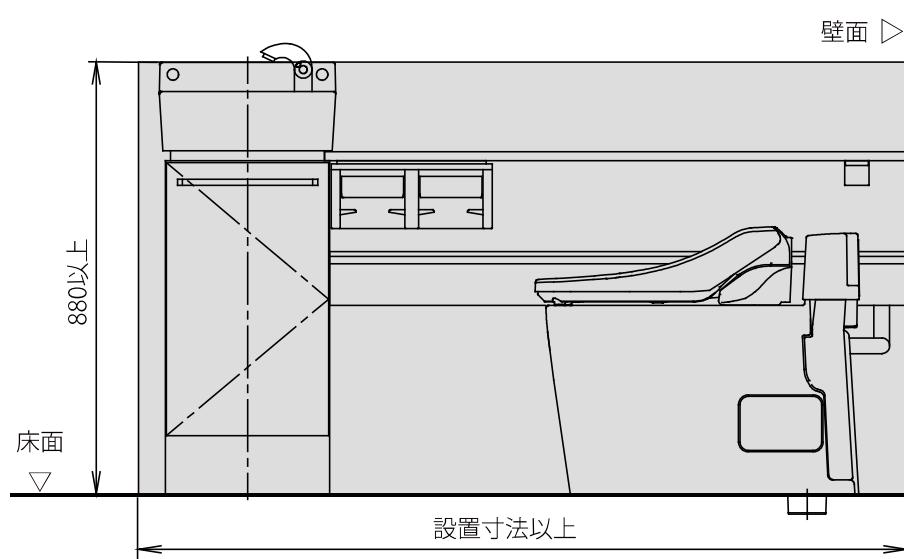
・便器用排水管の出代が165mmを超えた場合は、便器の設置位置は手前に出できます。

（後壁と便器の空間が広がります）



●補強材について

壁面の手洗キャビ、カウンター等の壁固定ねじ位置には、製品の取付前にJAS規格相当の普通合板t12mm以上を壁面に入れ、壁を補強してください。

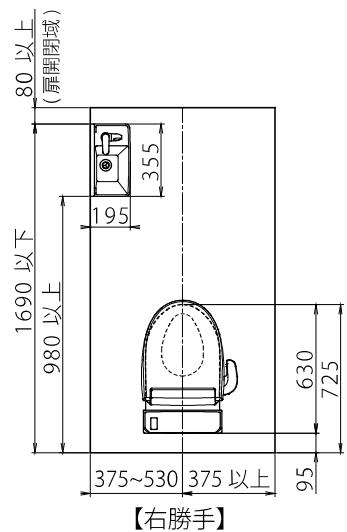


設置寸法について（参考）

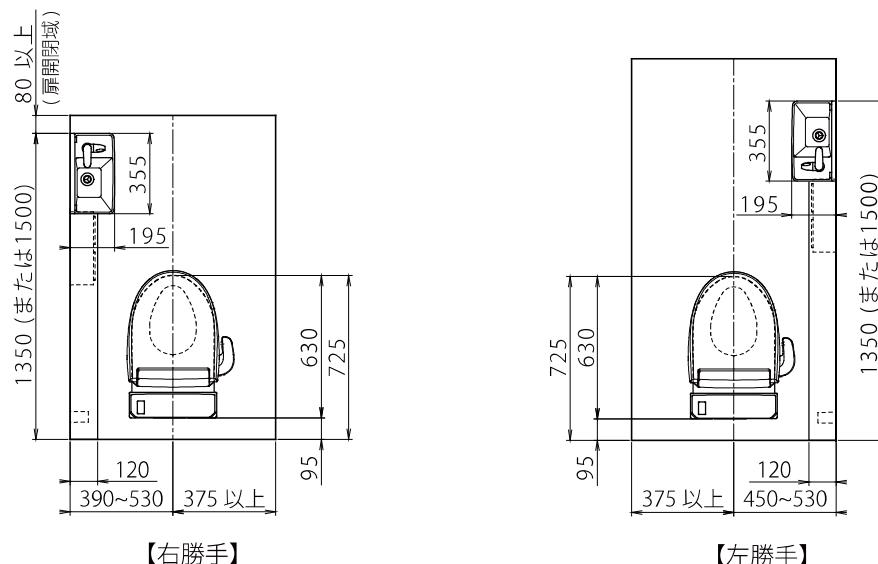
※図は排水心200mmの時の設置寸法です。

※動作範囲には個人差があります。使用状況に応じて図を参考に器具の配置を決めてください。

●手洗キャビのみを設置する場合



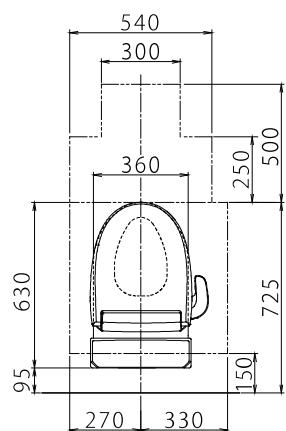
●カウンター付2連紙巻器を併設する場合



動作範囲について

- 右図2点鎖線内を、使用者の動作範囲としています。
- 動作範囲内には、手洗器、カウンターを配置しないでください。

※動作範囲には個人差があります。

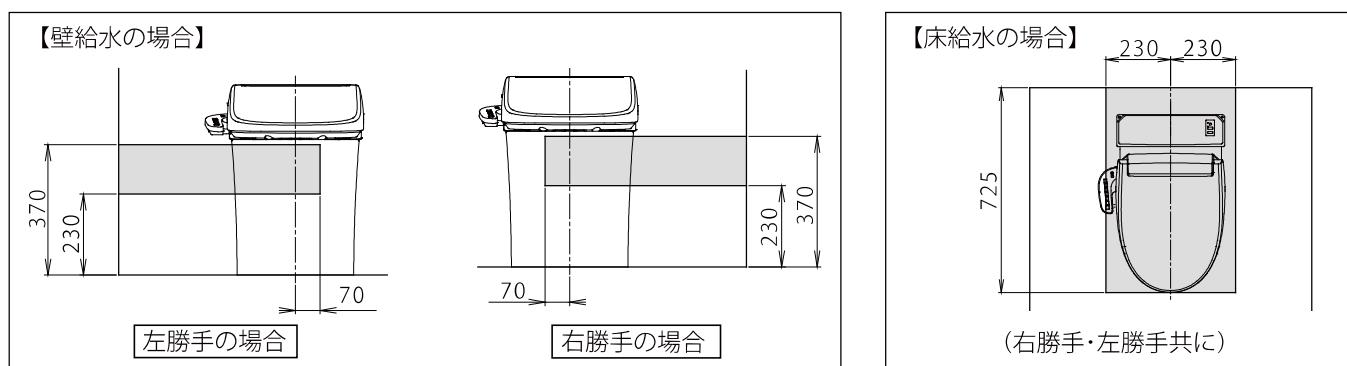


給水取出位置について

●取付不可の場合

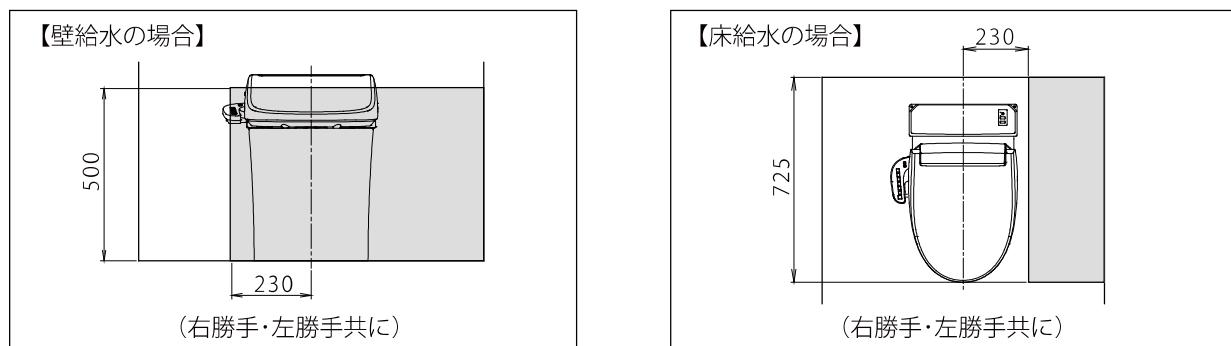
図の網掛け位置に給水取出（止水栓）がある場合は、製品の取付けができません。

新たに壁裏または床下で下記の給水取出範囲内に給水管を引き直してください。



●取替止水栓（別売品）にて対応

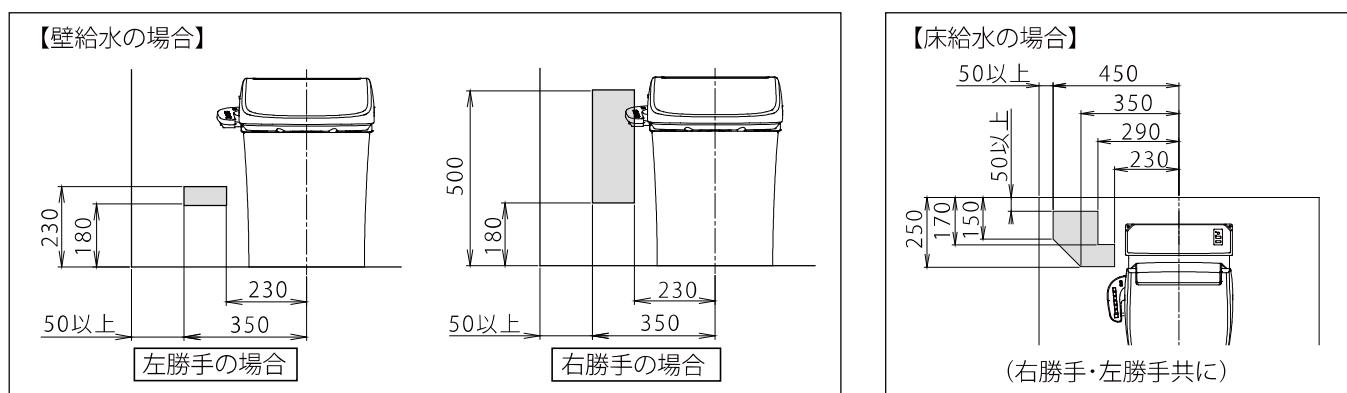
図の網掛け位置に給水取出（止水栓）がある場合は、取替止水栓にて止水栓の位置を下記の給水取出範囲内に変更してください。



●給水取出範囲

給水取出（止水栓）が図の網掛けの範囲内にある場合は、既設の給水管を使用することができます。

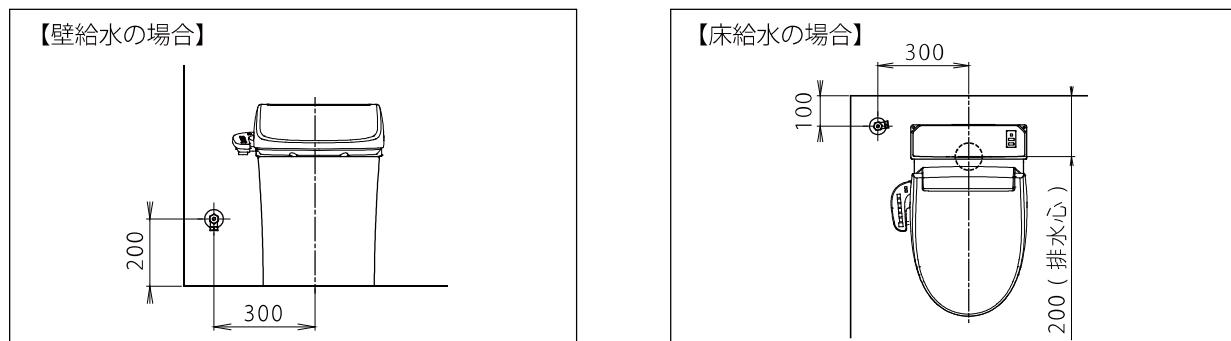
※排水心200mmの場合の取出範囲になります。便器設置位置により調整が必要な場合があります。



●給水取出位置（推奨）

基本の給水取出位置は図になります。

※排水心200mmの場合の取出位置になります。



部品の確認（梱包内容を確認してください）

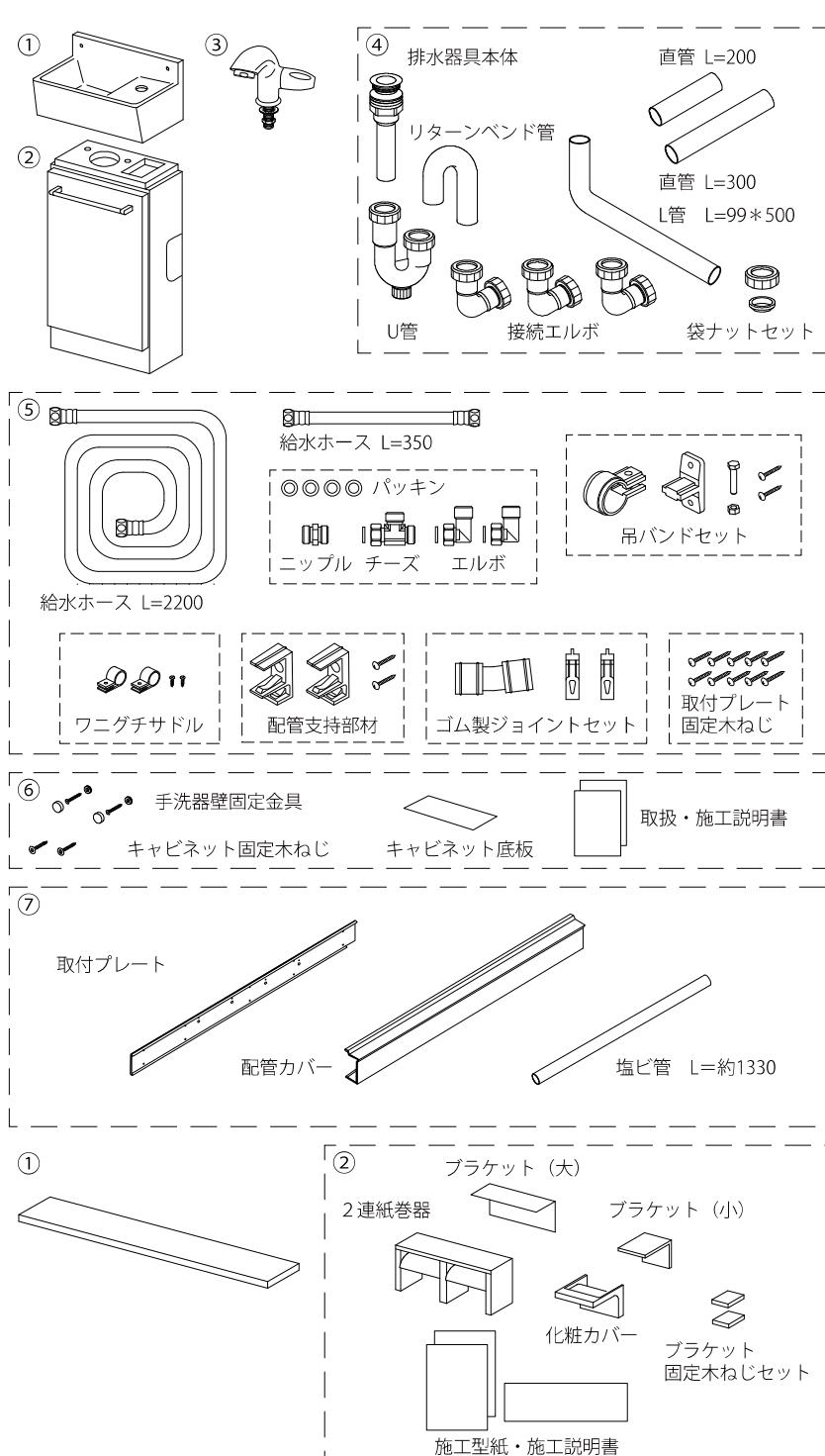
●手洗キャビ部材

1	手洗器	1 個
2	キャビネット	1 個
3	水栓金具	1 個
4	排水器具本体	1 個
	U管	1 個
	リターンペンド管	1 個
4	接続エルボ	3 個
	直管 L=200	1 個
	直管 L=300	1 個
	L管 L=99*500	1 個
	袋ナットセット	1 個
5	給水ホース L=350	1 個
	給水ホース L=2200	1 個
	エルボ	2 個
	チーズ	1 個
	ニップル	1 個
5	パッキン	4 個
	吊バンドセット	1 個
	ワニグチサドル	2 個
	配管支持部材	2 個
	ゴム製ジョイントセット	1 個
	取付プレート固定木ねじ	10 個
6	キャビネット底板	1 個
	手洗器壁固定金具	2 個
	キャビネット固定木ねじ	2 個
	取扱・施工説明書	各1部
7	取付プレート	1 個
	配管カバー	1 個
	塩ビ管 L=約1330	1 個

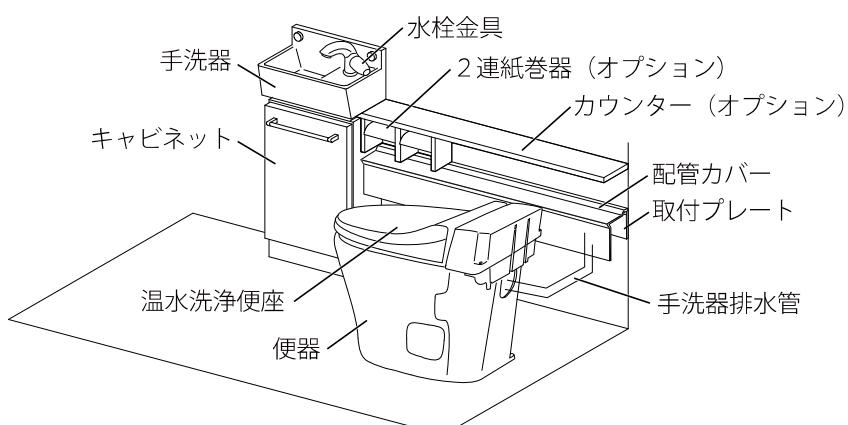
<オプション>（別売）

●カウンター付 2連紙巻器

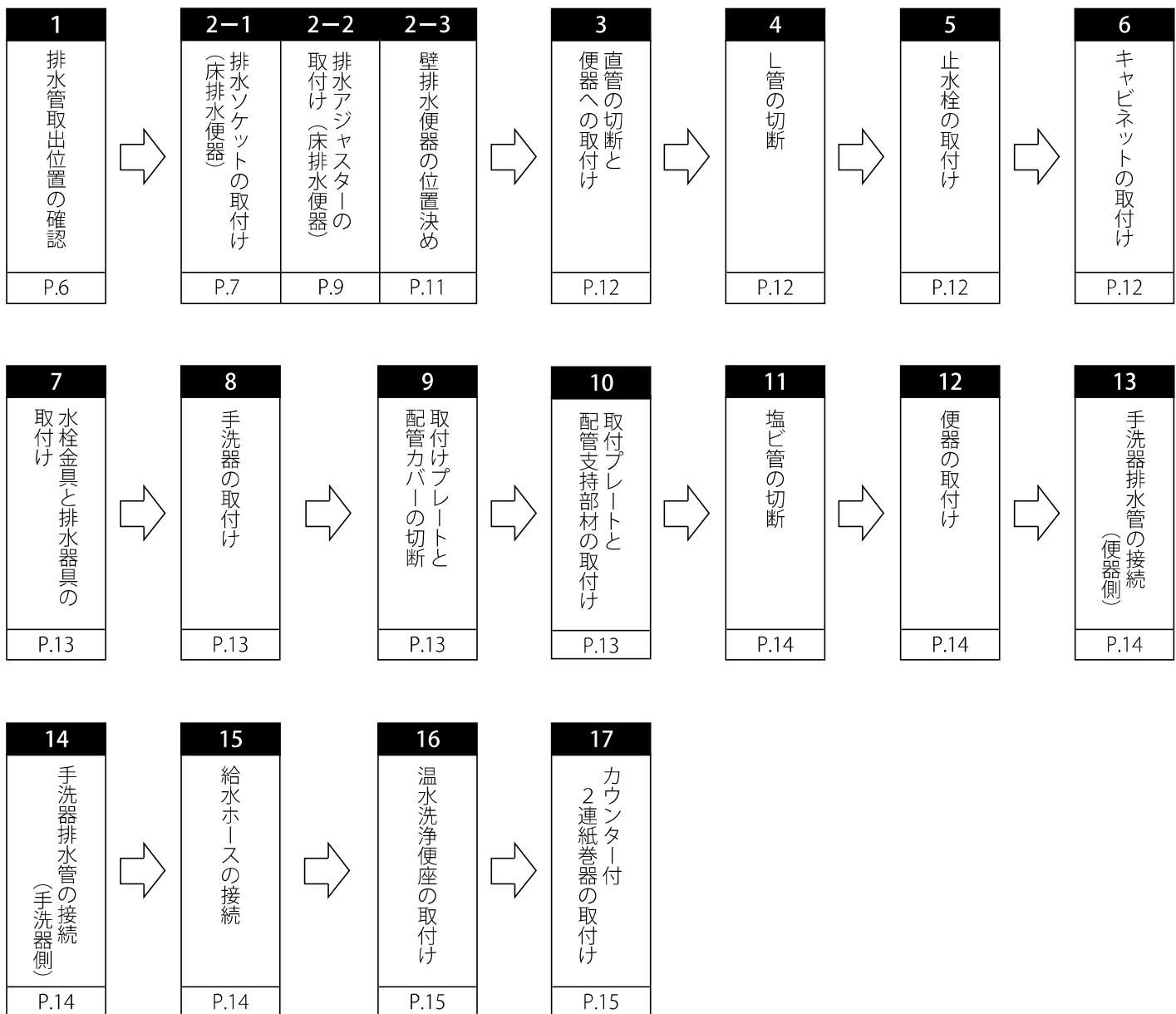
1	カウンター	1 個
	2連紙巻器（取付ビス付属）	1 個
	ブラケット（大）	1 個
	ブラケット（小）	1 個
2	ブラケット 固定木ねじセット	各1個
	化粧カバー	1 個
	施工型紙・施工説明書	各1部



各部の名称



施工チャート



施工（便器の位置決め）※使用する部材は便器の部材です

1. 排水管取出位置の確認

●床排水便器の場合

①排水心が後壁から190~555mmの位置にあることを確認してください。

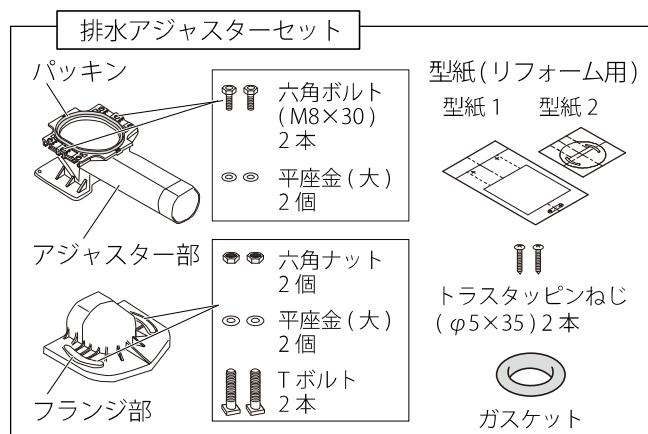
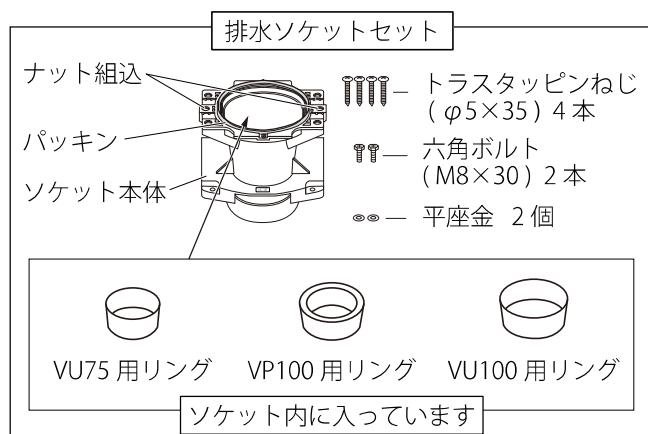
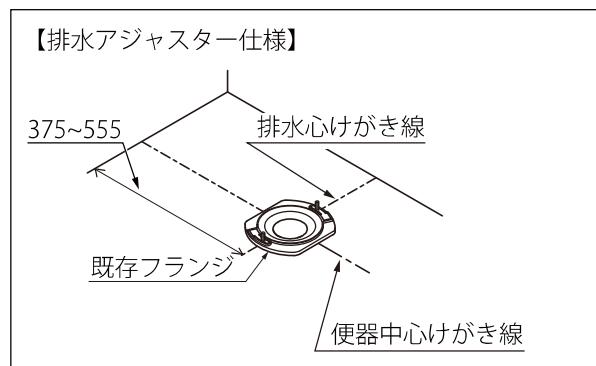
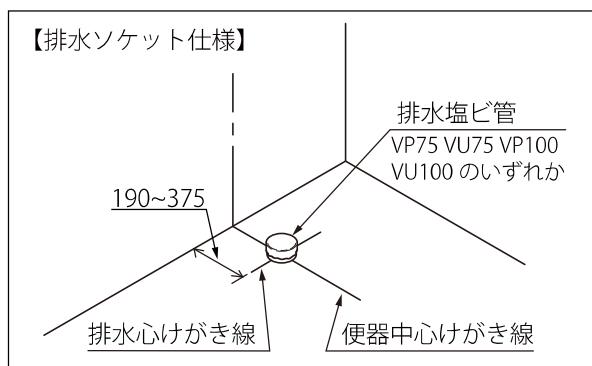
②排水心と便器中心線をかけがいてください。

※排水心190mm以上~375mm未満の場合は、排水ソケット仕様の便器を使用します。

※排水心375mm以上~555mm以下の場合は、排水アジャスター仕様の便器を使用します。

※排水アジャスター仕様の場合は、既設の床フランジを再利用するか、新たに床フランジを設置する必要があります。

※排水ソケットと排水アジャスターは、それぞれの便器に同梱されています。

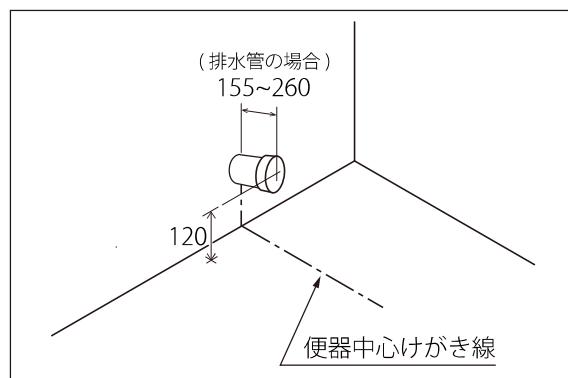


●壁排水便器の場合

①排水心高さが床から120mmであることを確認してください。

②便器用排水管の出代が後壁から155~260mmであることを確認してください。

③排水心に合わせて、便器中心線をかけがいてください。



△ 注意

排水管は逆勾配にならないようにしてください。
※洗浄性能の低下や逆流の原因になります。

お願い

●便器を取付けるまでに異物が入らないよう、
排水管にはビニール袋等で養生をしてください。

2. 便器の位置決め

2-1 排水ソケットの取付け（床排水便器の位置決め）

(1) 排水ソケットと固定用部材の位置決め

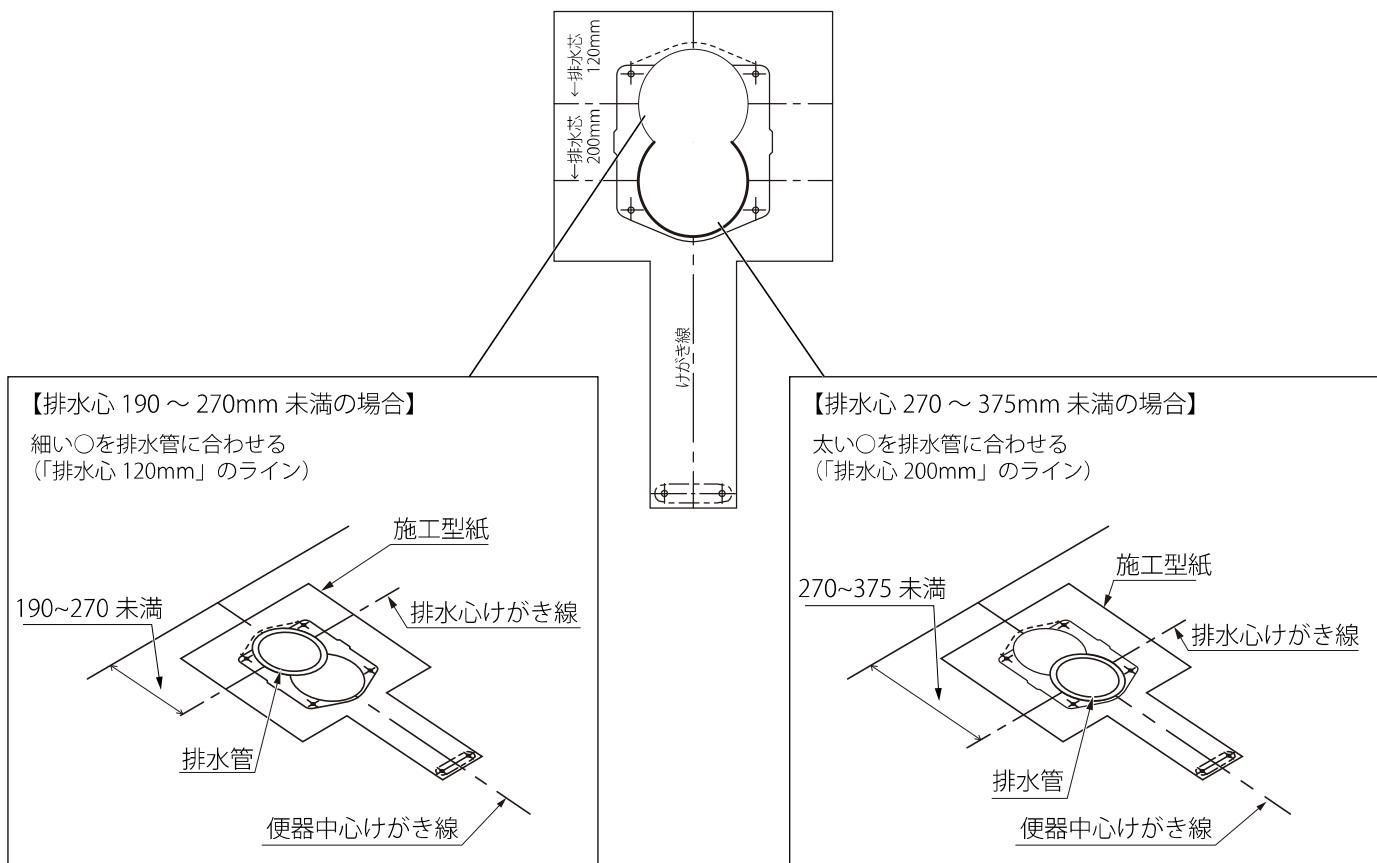
①排水管に合わせて施工型紙を置きます。

※排水心190～270mm未満の場合は、前項「1.排水管取出位置の確認」で引いたけがき線に型紙の「排水心120mm」
のけがき線と便器中心けがき線を合わせて置きます。

※排水心270～375mm未満の場合は、前項「1.排水管取出位置の確認」で引いたけがき線に型紙の「排水心200mm」
のけがき線と便器中心けがき線を合わせて置きます。

②型紙の「ソケット取付穴」と「固定用部材取付穴」位置（計6ヶ所）に下穴を開けます。

※位置決め後は、型紙を取り除いてください。



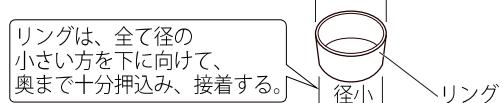
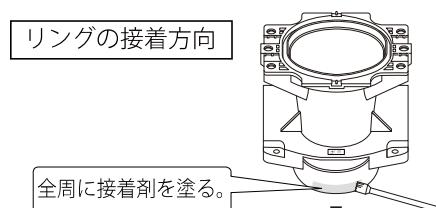
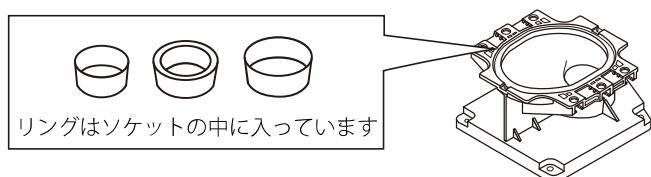
(2) 排水ソケットと固定用部材の取付

①排水管を床仕上げ面で切斷します。また床下への漏水防止のため、床面と排水管との隙間をシールしてください。

②排水管径に合わせて排水ソケットにソケットリングを取付け（接着）します。

※接着剤は、塩ビ管用接着剤を使用してください。

VP75 の場合	VU75 の場合	VP100 の場合	VU100 の場合
リング不要です			 リングを 2 個使用します



③排水管に排水ソケットを取付け（接着）、トラスタッピンねじで床に固定します。

④固定用部材を平座金と六角頭タッピンねじで床に固定します。

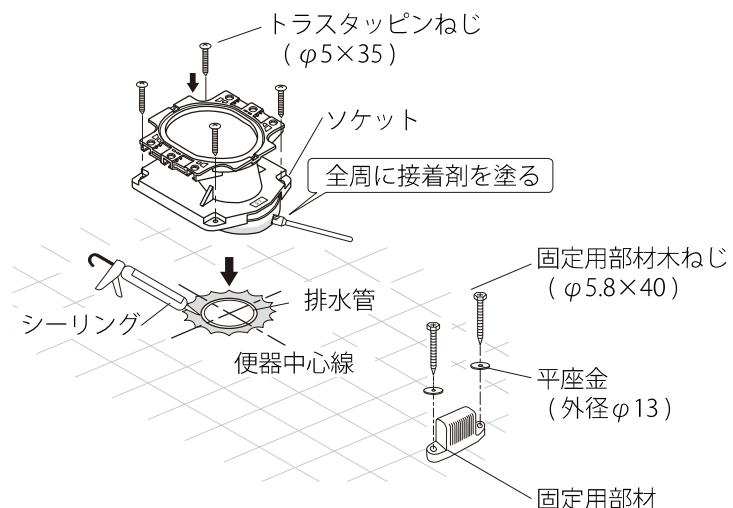
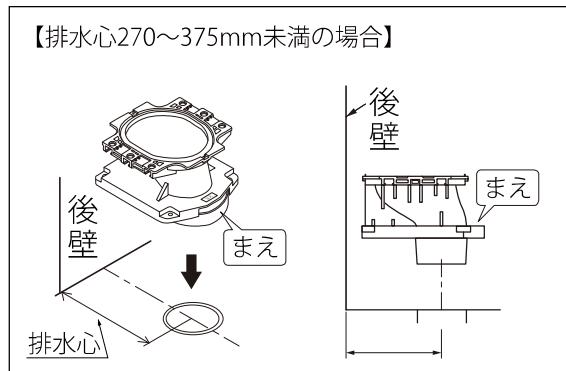
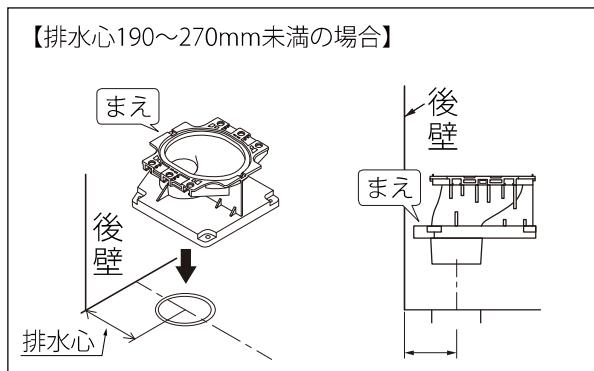
※排水心190～270mm未満の場合は、ソケットの『まえ』を後壁に向けて取付けます。

※排水心270～357mm未満の場合は、ソケットの『まえ』を手前に向けて取付けます。

※床がタイルやコンクリートの場合は、市販のアンカープラグを使用してください。

※接着剤は、塩ビ管用接着剤を使用してください。

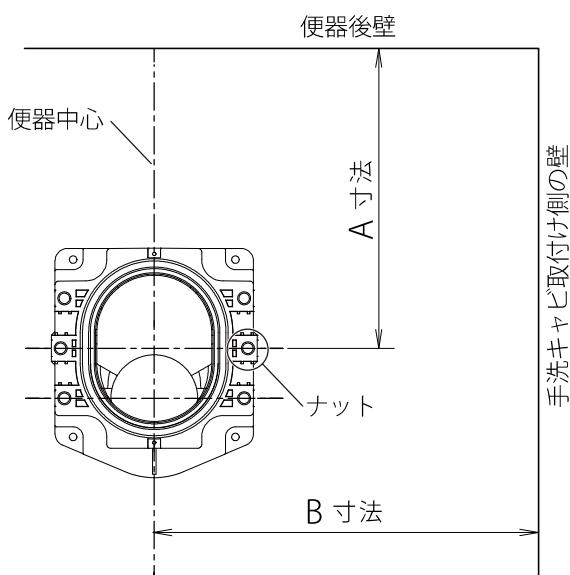
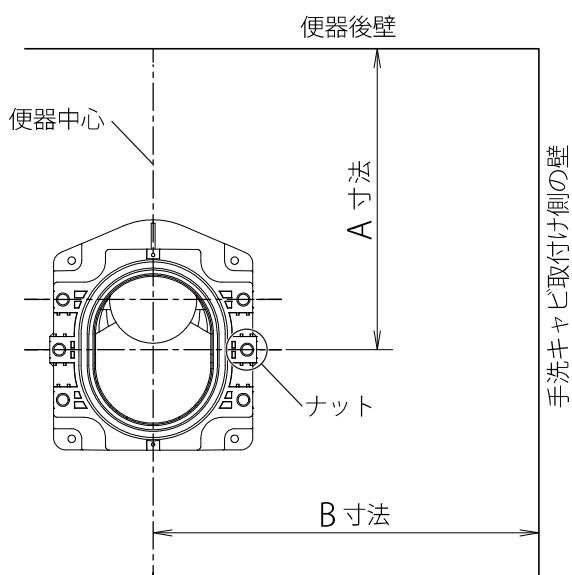
ソケット取付方向



(3)便器設置位置の寸法測定（※手洗器排水管の長さ調整に必要です。必ず実施してください）

①A寸法（排水ソケットのナット中心から便器後壁までの寸法）を計測します。

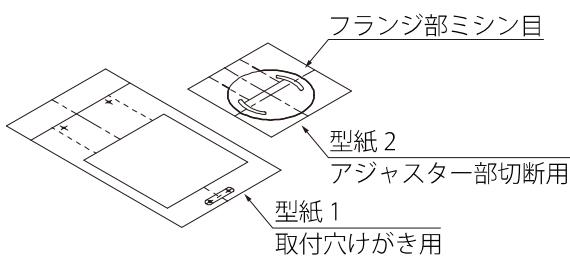
②B寸法（便器中心線から手洗キャビを取り付ける側壁までの寸法）を計測します。



2-2 排水アジャスターの取付け（床排水便器の位置決め）

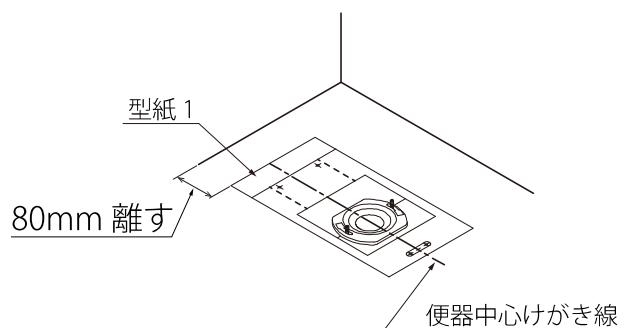
(1) 施工型紙の切り離し

- ① 施工型紙をミシン目に沿って「型紙1」と「型紙2」に切り分けます。
- ② 「型紙2」の「フランジ外周」部のミシン目を切ってください。（型紙は完全には切り離れません）
 - ・型紙1：アジャスター部と固定用部材の位置決め用
 - ・型紙2：アジャスター部の切断位置指示用



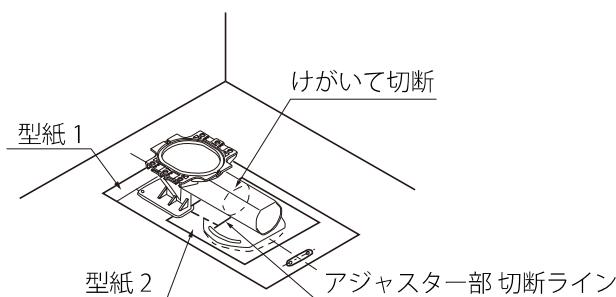
(2) アジャスター部と固定用部材の位置決め

- ① 「型紙1」を前項1で引いた便器中心けがき線に合わせ、また後壁から80mm離した位置に置きます。
- ② 「型紙1」の「ソケット取付穴」と「固定用部材取付穴」位置（計4ヶ所）に下穴を開けます。



(3) アジャスター部の切断

- ① 「型紙1」を置いたまま「型紙2」を床フランジに合わせて置きます。
- ② 「型紙1」の「ソケット取付穴」と破線に合わせてアジャスター部を仮置きします。
- ③ アジャスター部の横引管に「型紙2のアジャスター部切断ライン」の位置をけがいて切断します。
※ 切断後、施工型紙は取除いてください。

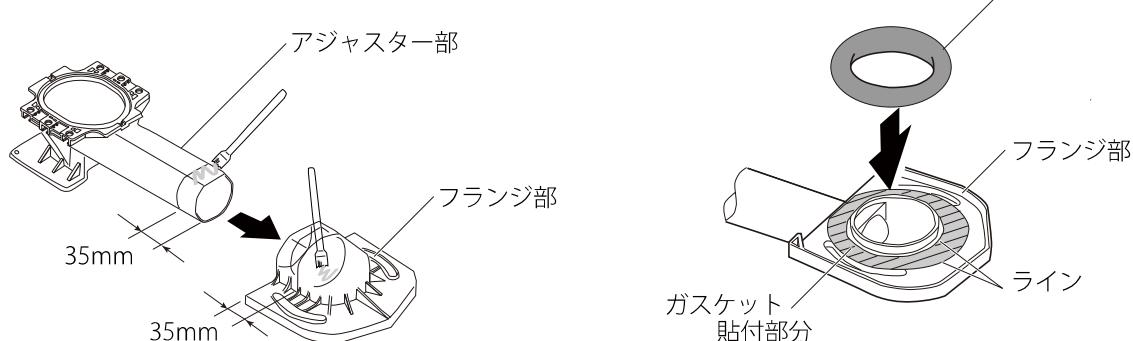


△ 注意

横引管切断後は端部のバリ、汚れを完全に取除く
汚れたままで装着すると水漏れで家財などを
必ず守る 濡らすおそれがあります。

(4) 排水アジャスターと固定用部材の取付け

- ① 排水アジャスターのアジャスター部とフランジ部を塩ビ管用接着剤で接着し組付けます。
※接着剤は全周に塗布し、差込代分を確実に差込んでください。
- ② 排水アジャスターのフランジ部にガスケットを取り付けます。
※ガスケットは必ず2本のライン間（■）に取付けてください。



③既設の床フランジにTボルトを取付けます。

④排水アジャスターを便器中心線、(2)で開けた「ソケット取付穴」、既設フランジに合わせて置きます。

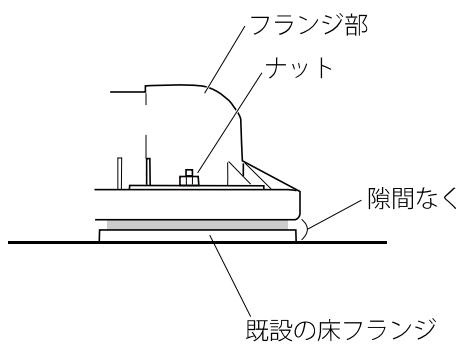
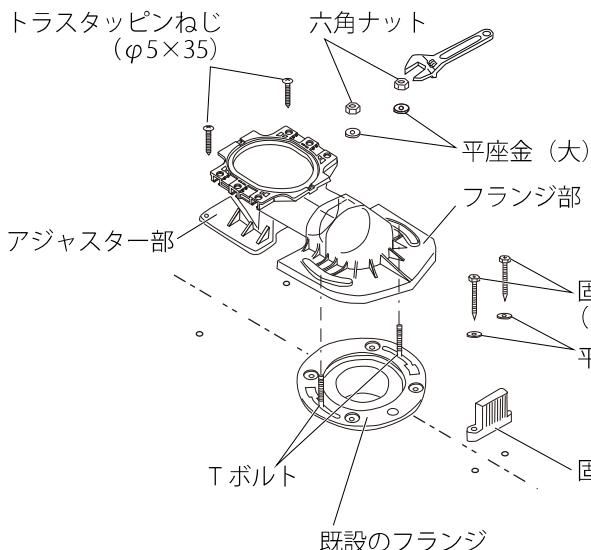
⑤アジャスター部をトラスタッピンねじで床に固定します。

⑥フランジ部を平座金（大）と六角ナットで既設フランジに固定します。

※フランジ部が床から浮かないよう、押さえ付けてからナットで隙間がなくなる様、締め付けてください。

⑦固定用部材を平座金と六角頭タッピンねじで床に固定します。

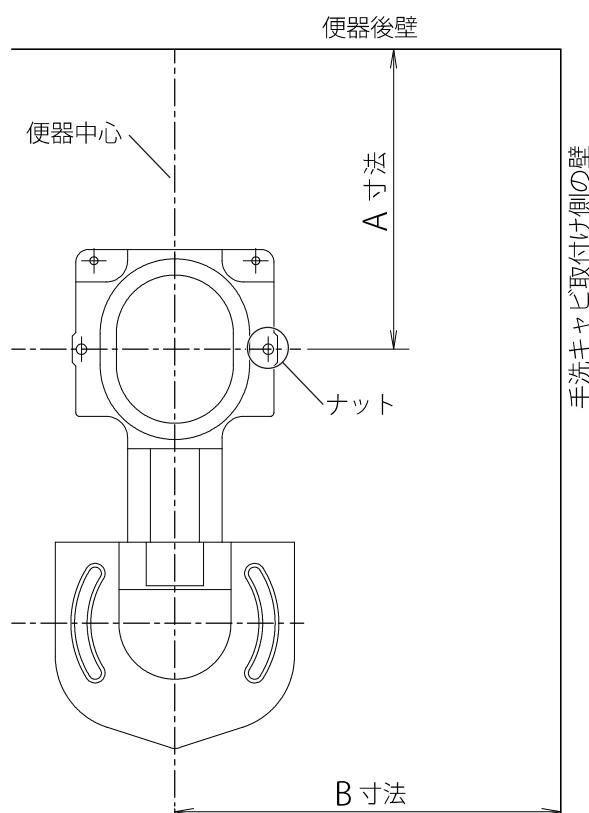
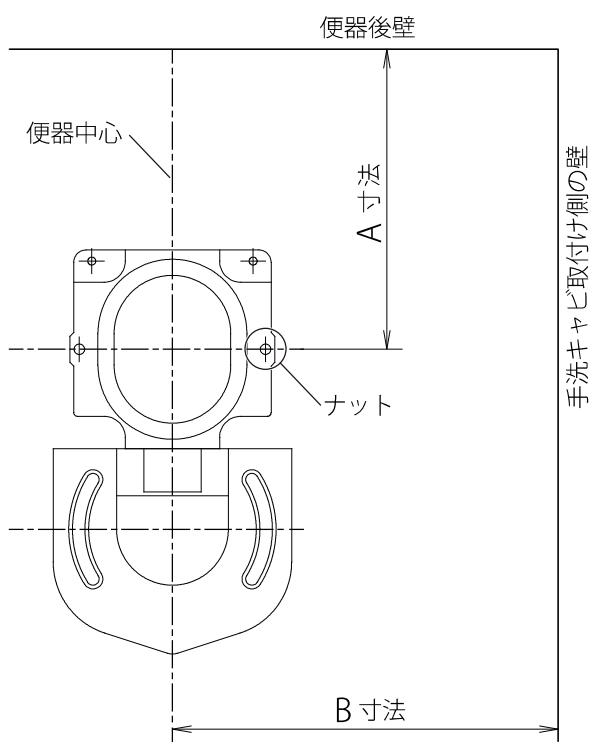
※床がタイルやコンクリートの場合は、市販のアンカープラグを使用してください。



(5) 便器設置位置の寸法測定（※手洗器排水管の長さ調整に必要です。必ず実施してください）

①A寸法（排水アジャスターのナット中心から便器後壁までの寸法）を計測します。

②B寸法（便器中心線から手洗キャビを取付ける側壁までの寸法）を計測します。

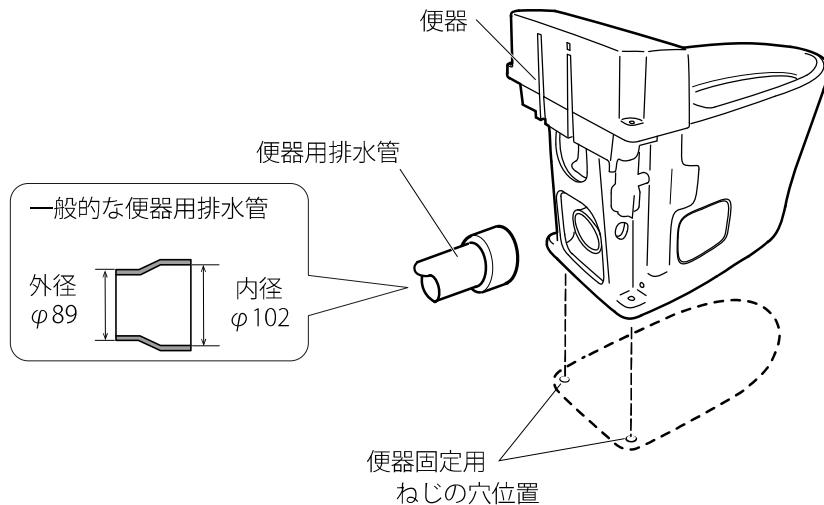


手洗キャビ取付け側の壁

2-3 壁排水便器の位置決め

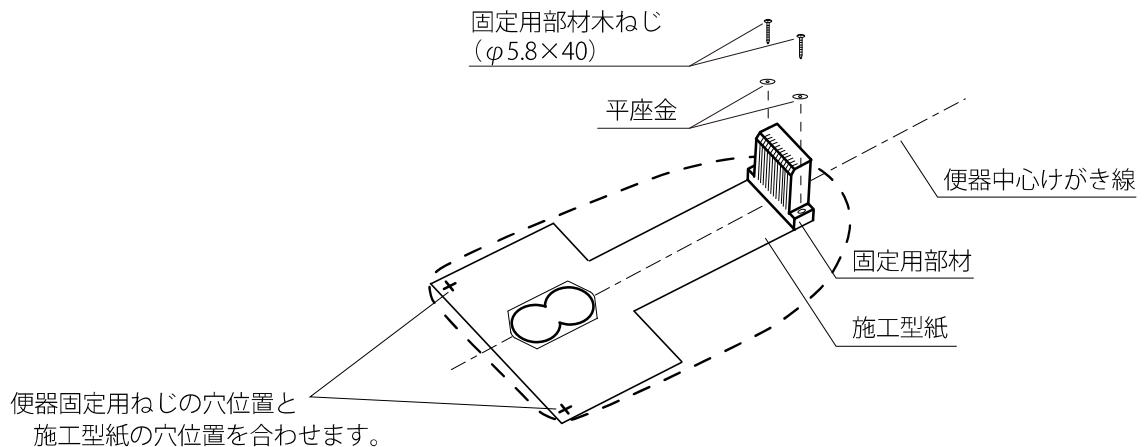
(1) 便器の位置決め

- ① 便器用排水管に便器を仮接続して便器の位置を決めます。
※ このとき、接続パッキンは便器に取付けずに行ってください。
- ② 便器の床固定ねじ穴位置を床にけがきます。けがき後に、いったん便器を取外してください。
- ③ ②のねじ穴位置（2ヶ所）に下穴を開けます。



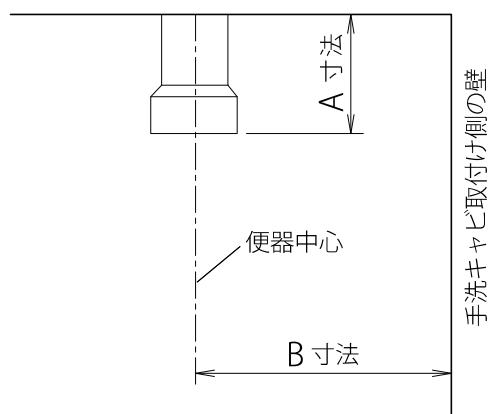
(2) 固定部材の取付け

- ① 施工型紙を便器中心けがき線と(1)③で開けた下穴に合わせて置きます。
- ② 型紙の「固定用部材取付穴」位置（2ヶ所）に下穴を開けます。
※ 位置決め後は、型紙を取り除いてください。
- ③ 固定用部材を平座金と六角頭タッピンねじで床に固定します。
※ 床がタイルやコンクリートの場合は、市販のアンカープラグを使用してください。



(3) 便器設置位置の寸法測定（※手洗器排水管の長さ調整に必要です。必ず実施してください）

- ① A寸法（便器用排水管の出代寸法）を計測します。
- ② B寸法（便器中心線から手洗キャビを取付ける側壁までの寸法）を計測します。



施工 (手洗キャビ)

3.直管の切断と便器への取付け

- (1) 直管 (L=200) を表1の「直管長さ」に従って切斷してください。

※表中のA寸法は、「2.便器の位置決め」で計測したA寸法です。

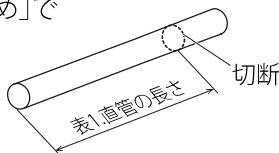


表1. 直管切斷寸法

●床排水の場合

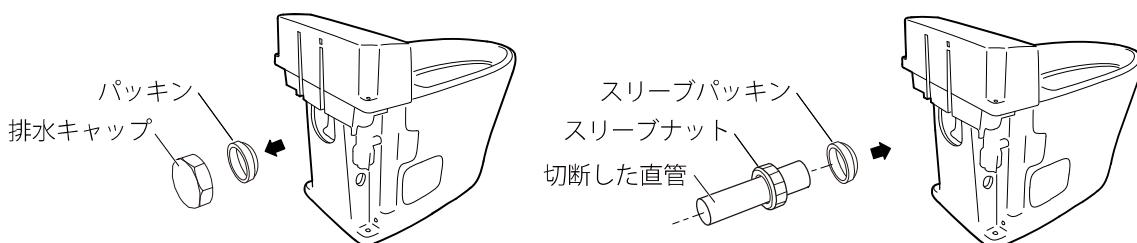
A寸法	直管の長さ
230 (最小)	95
285	150
335 (最大)	200

●壁排水の場合

A寸法	直管の長さ
155 (最小)	95
210	150
260 (最大)	200

- (2) 便器背面からトラップの排水キャップとパッキンを取り外します。

- (3) 上記(1)で切斷した直管をスリーブパッキンとスリーブナットでトラップに取付けます。
※管は接続部の奥まで差込んでください。



4.L管の切断

- (1) L管を表2の「L管の長さ」に従って切斷してください。

※表中のB寸法は、「2.便器の位置決め」で計測したB寸法です。

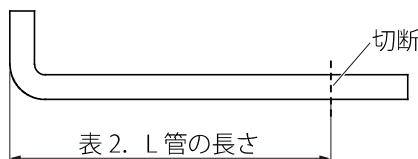


表2. L管切斷寸法

B寸法	L管の長さ (先端～外径)
375	346
450	421
530	501

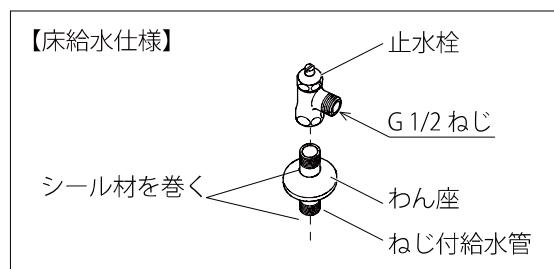
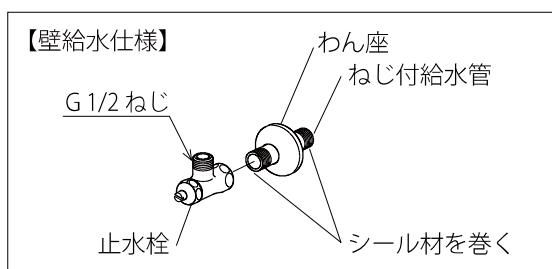
※目安寸法なので、現物に合せてカットしてください。

5.止水栓の取付け

- (1) 必要に応じて止水栓を取付けてください。

※止水栓の向きは、配管取回しを考慮して決めてください。

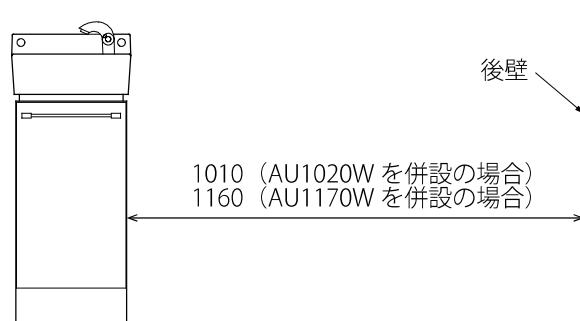
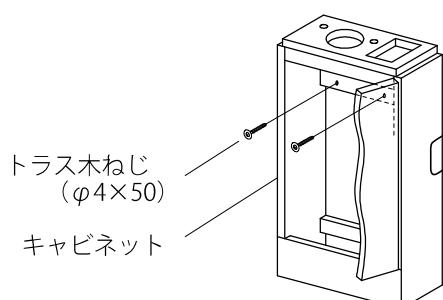
※寒冷地仕様（水抜き式）は、水抜き勾配がつけられないため、床給水のみとなります。



6.キャビネットの取付け

- (1) キャビネットを所定の位置に置き、トラス木ねじで壁に固定します。

※カウンター付2連紙巻器を併設する場合は、キャビネットは右図の位置に設置してください。



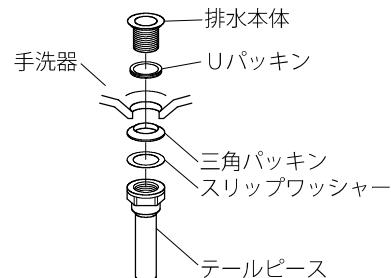
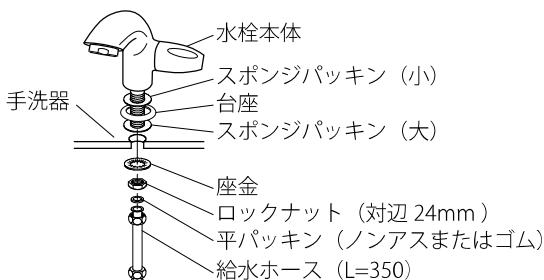
7. 水栓金具と排水器具の取付け

(1) 手洗器に水栓金具を取付けます。

(2) 水栓金具に給水ホース (L350) を取付けます。

※平パッキンは、ホース付属のノンアスパッキンまたは付属のゴムパッキンを使用してください。

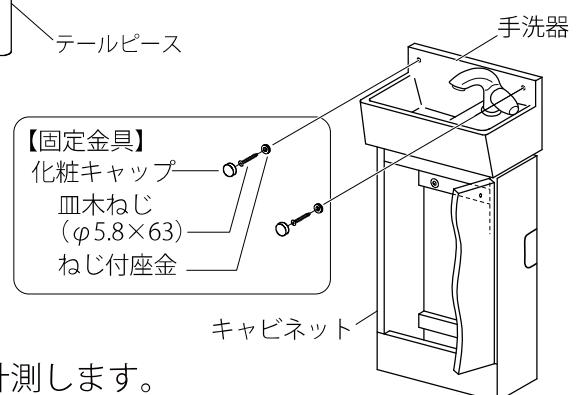
(3) 手洗器に排水器具本体部を取付けます。



8. 手洗器の取付け

(1) 手洗器をキャビネットの上に載せ、固定金具で壁に固定します。

※木ねじは、手洗器の取付面に対して垂直にねじ込んでください。

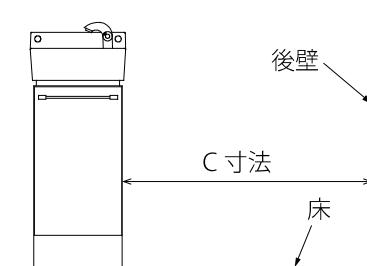
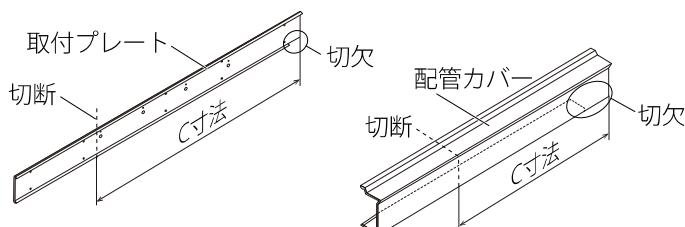


9. 取付プレートと配管カバーの切断

(1) C寸法 (後壁からキャビネット側面までの寸法) を計測します。

(2) 取付プレートおよび配管カバーをC寸法 (2mm程度短く) で切断します。

※切欠のない方を切断してください。

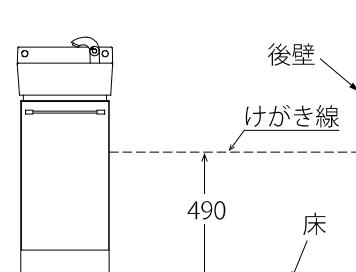


10. 取付プレートと配管支持部材の取付け

(1) 取付プレートの取付壁に、床から490mmの高さに水平線をけがきます。

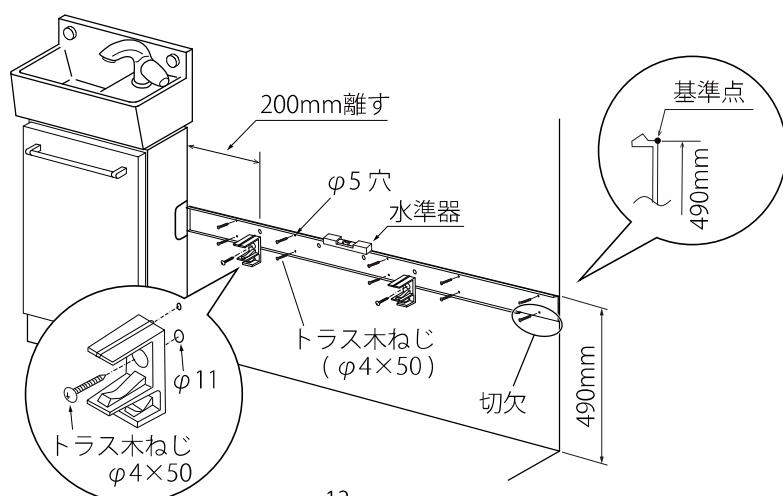
(2) 取付プレートの基準点をけがき線に合わせて取付プレートをトラス木ねじで壁に固定します。

※取付プレートは水平に取付けてください。



(3) φ11の穴位置の2ヶ所に配管支持部材をトラス木ねじで壁に固定します。

※配管支持部材は、最も後壁に近い位置とキャビネット側面から200mm程度離した位置に取付けてください。



11. 塩ビ管の切断

- (1) 塩ビ管を表3の「塩ビ管の長さ」に従って切断してください。
※表中のC寸法は「9.取付プレート、配管カバーの切断」で計測したC寸法です。
※塩ビ管の長さ=C寸法-195mmとなります。
- (2) 切断した塩ビ管を取付プレートの配管支持部材に取付けます。

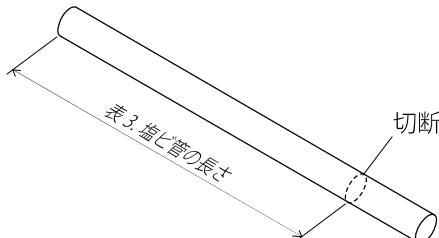


表3. 塩ビ管切断寸法

C寸法	塩ビ管の長さ
980	785
1010 (AU1020Wを併設の場合)	815
1160 (AU1170Wを併設の場合)	965
1350	1155

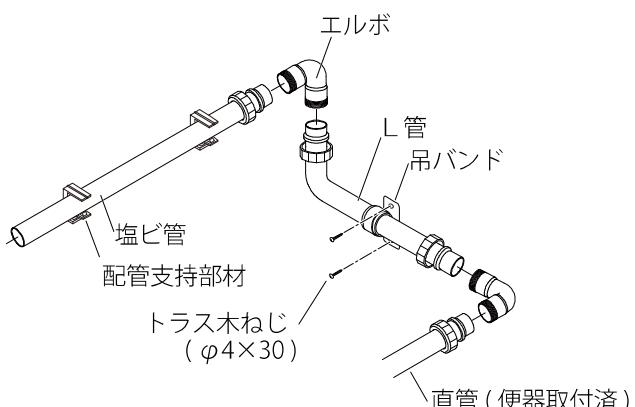
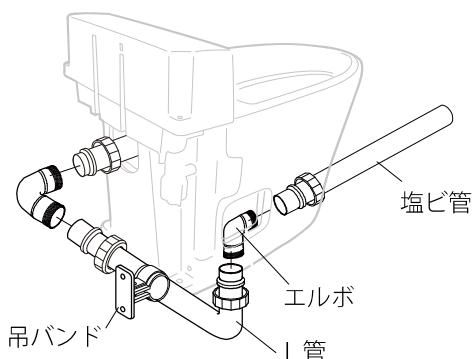
※目安寸法なので、現物に合せてカットしてください。

12.便器の取付け

- (1) 便器の施工説明書に従って便器を取付けてください。

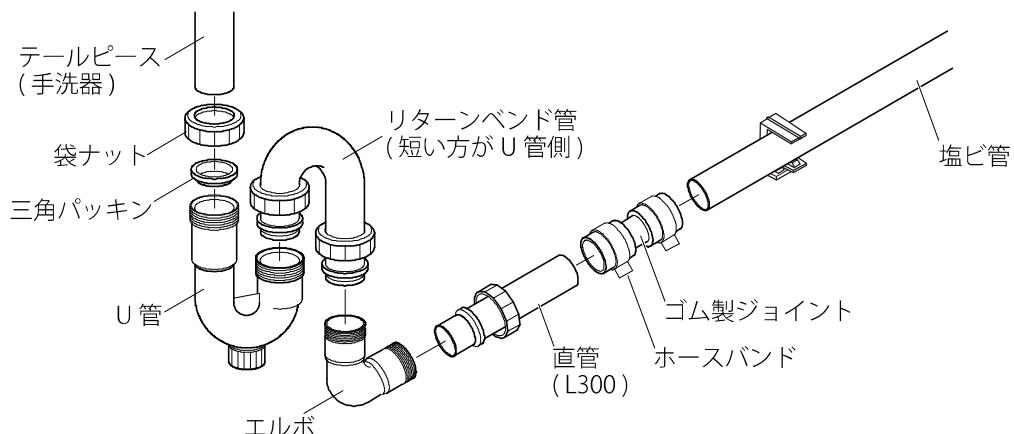
13.手洗器排水管の接続（便器側）

- (1) 手洗器排水管を便器に接続します。
※吊バンドはあらかじめ仮組みの状態でL管に取付けてください。
- (2) 排水勾配を確保し、吊バンドをトラス木ねじで壁に固定します。
※中空壁の場合は、市販のボードアンカーを使用してください。



14.手洗器排水管の接続（手洗器側）

- (1) 手洗器にトラップを取付けます。
- (2) 直管(L300)の長さを調整(切断)してゴム製ジョイントで塩ビ管と接続してください。
※ホースバンドの留具(赤色)を引抜くとホースバンドは締まります。



15.給水ホースの接続

- (1) 止水栓に温水洗浄便座用分岐金具(ホース付)とチーズを取付けます。
- (2) チーズに便器給水ホースと手洗器給水ホース(L2200)を接続します。
- (3) 手洗器給水ホース(L2200)を取付プレートの配管支持部材に留めて、キャビネット内に引き込みます。
- (4) 水栓金具の給水ホース(L350)と給水ホース(L2200)を平行ニップルで接続します。
※エルボを2個付属しています。給水ホースの取回し状況に応じて使用してください。
※給水部材の接続部には、必ずパッキンを使用してください。
※給水ホースの長さが不足した場合は、別売りの延長ホースまたは市販の水道用ホース(接続ねじ:G1/2)を使用してください。
- (5) 配管が完了しましたら、取付プレートに配管カバーを取り付け、またキャビネットに底板を納めてください。

●手洗器給水ホースの納め方

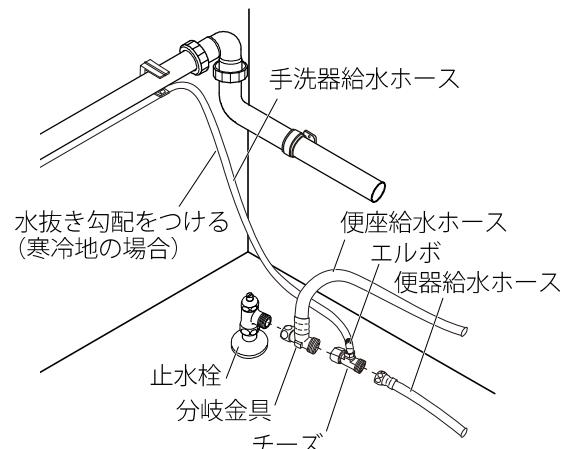
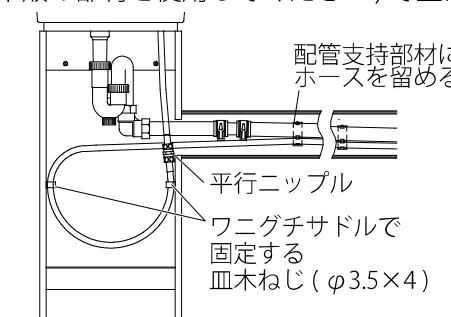
(1) 一般地の場合

便器側はホースに弛みがない様に取回し、余った給水ホースはキャビネット内に納めます。
キャビネット内で給水ホースを取回して、ワニグチサドルでキャビネット内に固定します。

(2) 寒冷地(水抜き式)の場合

キャビネット内ではホースに弛みを持たせずに便器側にホースを引き出します。

水抜き勾配を確保できる様にホースを配置しワニグチサドル等(市販の部材を使用してください)で壁に固定してください。



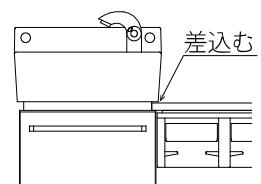
16.温水洗浄便座の取付け

- (1) 温水洗浄便座の施工説明書に従って取付けてください。

17.カウンター付2連紙巻器の取付け

- (1) カウンター付2連紙巻器の施工説明書に従って取付けてください。

※カウンターの紙巻器側を手洗器とキャビネット側板の隙間に差込む形で取付けます。



施工後の確認

■手洗器、キャビネット等の固定の確認

- (1) 手洗器、キャビネット等の取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみが無いことを確認します。
- (2) 手洗器、キャビネット等自体にガタツキ、壁とキャビネットの隙間が無いことを確認します。
- (3) ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は必ずねじ位置を変えて取付け直します。

■吐水量、排水量の確認

- (1) 水栓から吐水させて、手洗器の外へ水はねがないよう止水栓を開閉して流量を調節します。
※吐水量は、毎分4リットルが目安です。

■給水、排水接続部の確認

- (1) 水栓金具から吐止水させ、止水栓、水栓金具の各接続部からの水漏れの無いことを確認します。
- (2) トラップ、排水管の各接続部からの水漏れの無いことを確認します。

ジャニス工業株式会社